

# 田健治郎関係文書(第3次受入分)

2016年7月作成

国立国会図書館憲政資料室

## 田健治郎関係文書(第3次受入分)

### 【凡例】

- ・田健治郎関係文書(第3次受入分)は、1001番から始めた。
- ・資料の配列は年代順とした。
- ・作成者・年代等で、推定したものには〔 〕を付した。

※本目録は、季武嘉也氏(国立国会図書館利用者サービス部客員調査員)が作成したものである。

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R3	1001	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治25年] 5月30日	中橋徳五郎より、三崎亀之助は民法商法延期法案賛成者に田艇吉の名が入っていると言うが、田君自身は承諾していないと言っている、如何と尋ねてきた。以前自分が兄は多分延期に賛成だろうと言ったので無断で入れたのではないかと、言っておいた。できれば延期法案に賛成してほしい。	墨書	巻紙	資料番号1001、1037、1052は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「42.12.12」)	1通	
↓	1002	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治25年] 7月29日	鉄道に関する意見書拝読、同感。技師宿所別紙にて呈進。第1期期成各線残らず本年議会で議定の件は大臣も同意見。数日来、内閣大波乱。	墨書	巻紙		1通	鉄道庁技師2名住所、1枚
	1003	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治27年] 8月1日	日清戦争につき新聞未掲載の戦況を報告す。別啓、議員候補は無競争で当選するようならば御承諾する外なし。静懐妊の件につき西淳へ問合せ、別紙の通り略答あり。	墨書	巻紙		1通	(1)田健治郎書簡田艇吉宛、明治27年8月1日、1通/(2)西村淳葉書田健治郎宛、明治27年7月30日、1通
	1004	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治27年] 8月20日	戦争の為株価下落、この機に投資すれば異常の勝利を得るべし。朝鮮の戦況は今後大決戦行わるべし。高陞号事件は日本に有利に解決。	墨書	巻紙		1通	
	1005	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治28年] 5月1日	土田綾子縁談準備の件。片山貫三郎より睦子縁談は時期尚早との返書到来。	墨書	巻紙	資料番号1005、1096はもと同じ封筒入り	1通	小谷哲宛田長喜書簡、1通
	1006	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治28年] 8月7日	友吉無罪放免され安心。瀧へ依頼の須磨御料地の件、払下げは困難。小生よりと偽称し衣川へ贈られた新約全書の件、猾奴の所為と存ず。	墨書	巻紙		1通	(1)瀧又右衛門書簡田宛、7月25日、1通/(2)田中新太郎書簡瀧宛、7月29日、1通/(3)瀧又右衛門書簡田宛、7月31日、1通
	1007	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治28年] 9月4日	台湾も漸く平定に向かい御同慶。コレラに注意されたし。	墨書	巻紙		1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R3	1008	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治28年] 9月16日	重野安居はコレラとは名ばかりで軽症、既に全快退院。住友の銀行事業担当とのこと、愉快なり。土田繁吉留守預かりの件。	墨書	巻紙		1通	
↓	1009	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治28年] 10月3日	昌は脚気で自宅療養。阪鶴鉄道本免状は、鉄道会議に諮詢の必要あり。清国償金もあり、起業熱も勃興し、株権は今後上昇の見込み。時機を見計らっては如何。	墨書	巻紙		1通	
	1010	田健治郎書簡	田健治郎	田長喜	[明治28年] 10月28日	遠祖母様らの法事開催感謝。一書を呈すべきところ、朝鮮で事変発生し延引し、恐縮。	墨書	巻紙	封筒消印は「□8・10・30」	1通	
	1011	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治28年] 10月28日	函館・小樽間鉄道に関する内問拝承、政府内に官設か私設か意見分かれるが、発起人御加入は可。園部・姫路間鉄道は採算とれないだろう。	墨書	巻紙		1通	
	1012	田健治郎書簡	田健治郎	田長喜	[明治28年] 10月31日	本日、日清戦争尽力により恩命を拝受す。	墨書	巻紙		1通	
	1013	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治28年] 10月31日	本日宮内省より日清戦争に対する功績で章典あり。	墨書	巻紙	資料番号1013、1089はもと同じ封筒入り	1通	
	1014	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治28年] 11月20日	谷田仙次郎地所売戻の件。阪鶴鉄道の車両その他未決定ならば松元の紹介によるジャージマゼソン商会にも見積もりを取らせてほしいとのこと。誠、ジブテリアで北里伝染病研究所に入院。近年は血清療法の効験益々确实。	墨書	巻紙		1通	
	1015	田健治郎書簡	田健治郎	田長喜	[明治28年] 11月27日	子どもたちの病状報告。	墨書	巻紙		1通	
	1016	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治29年] 1月6日	年末年始の御歓待感謝。	墨書	巻紙	資料番号1016、1039、1087は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「29・1・8」)	1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R3	1017	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	〔明治29年〕1月9日	欧米出張の辞令を受け取る。	墨書	巻紙		1通	
↓	1018	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	〔明治29年〕2月13日	本日、男子(正)無事出産。	墨書	巻紙	資料番号1018、1050はもと同じ封筒入り	1通	太田休蔵書簡田伯父宛、明治29年1月1日、1通
	1019	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	〔明治29年〕2月16日	朝鮮は今や無政府状態、いずれポーランドの二の舞に。仙石は抱負頗る大にて阪鶴鉄道の如き小会社の社長は応ぜざるべし。取引所併設および天竜川銅鉞の件。	墨書	巻紙		1通	
	1020	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	〔明治29年〕3月6日	新聞紙上に掲載された洋行日程は誤りなので正確な日程をお伝えする。田辺家婚儀整いめでたし。	墨書	巻紙	資料番号1020、1092、1098はもと同じ封筒入り	1通	
	1021	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	〔明治29年〕3月14日	田辺君御地通過の時日はおって連絡する。田昌、共立中学に通学を始める。	墨書	巻紙	資料番号1021、1026、1064はもと同じ封筒入り(封筒消印は「29・3・16」)	1通	
	1022	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	〔明治30年〕4月17日	不慮の蹉跌にて面部御負傷とのことお見舞い申し上げます。	墨書	巻紙		1通	
	1023	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	〔明治30年〕5月9日	萱堂様御安着の趣悦ばし。阪鶴鉄道敷地代回送に深謝。	墨書	巻紙		1通	
	1024	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	〔明治30年〕6月26日	1300円第百銀行為替券にて京都曾野作太郎に送金の件。	墨書	巻紙		1通	
	1025	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	〔明治31年〕2月2日	南阪鶴鉄道社長出京の件。神戸水道鉄管置場の件は松本に申談じ、及ぶだけ便宜図る心算。この度、音羽に土地購入するので回金を願う。	墨書	巻紙		1通	
	1026	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	〔明治31年〕2月20日	鵬程日誌完成したので送付す。音羽邸地は値段折り合わず購入しないかもしれない。姫路師団完成は32年度。	墨書	巻紙	資料番号1021、1026、1064はもと同じ封筒入り(封筒消印は「29・3・16」)	1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R3	1027	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治31年] 4月25日	芳子(明治26年7月出生)怪我の状況。自由党提携破綻、政界一波瀾を生ずべく、嘆息の至り。	墨書	巻紙	資料番号1027、1041、1094、1099はもと同じ封筒入り(封筒消印は「5.1.15」、小島友吉宛)	1通	
↓	1028	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治31年] 6月19日	昌の学資金領収、試験終了の由。議会解散は嘆息の至、政府と自由党との失敗にて進歩党独り漁夫の利、廟堂の諸君は半月前に覚醒すべきであった。自由党を駆て進歩党に入らしめたる者は政府なり。誠に苦々しきこと。	墨書	巻紙		1通	
	1029	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治31年] 7月17日	関西鉄道の件、渡辺洪基・今村清之助・白石直治より近日中の社長就任の打診あり、承諾す。	墨書	巻紙		1通	
	1030	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治31年] 7月28日	取締役推挙後は帰京、とりあえず単身で赴任の予定。晴、園田伯父の病状。	墨書	巻紙		1通	
	1031	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治31年] 11月12日	本社重役総辞職の善後策目下議論紛々。小生は寧ろ再選を望まずと申しおるが、強いて辞退することもなし。山県侯の超然主義では到底永続無理。	墨書	巻紙	封筒消印は「36・[ ]」	1通	
	1032	田健治郎書簡	田健治郎	田長喜	[明治31年] 12月10日	関西鉄道重役選挙の結果。追って重役会にて白石辞退し小生が社長就任の筈。	墨書	巻紙		1通	
	1033	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治31年] 2日	鵬程日誌3冊を通信技師岡本桂次郎に托し進呈す。	墨書	巻紙		1通	
	1034	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治32年] 1月24日	忠隈石炭は公定試験実施の心算。銀行取引の件。阪鶴鉄道債券書き替えの件など。	墨書	巻紙		1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R3	1035	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治32年] 6月1日	明石松次郎の書状拝読、例に依り因循だが、日下・石原で決定した上は致し方なし。大久保来奈の件。松元剛吉来訪中。	墨書	巻紙		1通	(1)明石松次郎書簡田氏宛、5月24日、1通/(2)明石松次郎書簡田令閨宛、5月24日、1通
↓	1036	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治32年] 7月23日	近日重役会等があり天神祭は不参加、篤・誠とは毎日海辺散歩。	墨書	巻紙		1通	
	1037	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治33年] 5月25日	皇太子同妃両陛下伊勢参拝、小生は京都まで供奉、その後帰阪。	墨書	巻紙	資料番号1001、1037、1052は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「42.12.12」)	1通	
	1038	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治33年] 11月10日	手狭だが新居を構える。篠田は芳江結婚賛成。日々出省繁忙。	墨書	巻紙		1通	
	1039	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治33年] 12月11日	今般官舎に引越し。邸宅望む人あれば1万円以上に限らず。	墨書	巻紙	資料番号1016、1039、1087は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「29・1・8」)	1通	
	1040	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治34年] 2月22日	氷上郷友会抛金の件、金額は適当と存ず。小谷哲らの修業方針。渡辺弗措17回忌の件、発起人引受および寄付金抛出受諾。堺行き入用等の件。広内身上の件。	墨書	田氏蔵版罫紙		1通	園田亮吉書簡田艇吉宛、明治34年2月19日、1通
	1041	田健治郎書簡	田健治郎		[明治35年] 7月11日	小生、政友会候補に選定されたので御援助を願う。	墨書	巻紙	資料番号1027、1041、1094、1099はもと同じ封筒入り(封筒消印は「5.1.15」、小島友吉宛)	1通	
	1042	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治35年] 8月22日	総選挙での御援助を感謝す。明石警察署長鍋島警部は選挙法違反で懲戒免官との事、この件に付お知らせを願う。	墨書	巻紙	封筒消印は「41・5・1」	1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R3	1043	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治36年] 2月18日	昨年の小谷保太郎および一昨年総選挙の際の艇吉兄よりの借金合計2000円返済のため為替送付。	墨書	巻紙	資料番号1043、1045、1049、1100は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「42・5・26」)	1通	
↓	1044	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治36年] 12月22日	芦田は住友採用、感謝。八木は気の毒。日露関係緊迫、悠長な当局者も決意の様子、軍も準備に忙殺。大決心をするにあらざれば解決困難と確信。選挙は松元が立候補の予定、有志より推薦する形でないと労費を要するのでそのように現在手配中。	墨書	巻紙	資料番号1044、1073はもと同じ封筒入り	1通	
	1045	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治37年] 1月20日	南清阪鶴鉄道社長死去、後任には艇吉兄が当然、大浦大臣も同意見なので大臣の推薦として進めたい。大浦より横田帛彦が立候補し住友の票の斡旋を艇吉にお願いしたいとの話あり、この点もお願いしたい。	墨書	巻紙	資料番号1043、1045、1049、1100は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「42・5・26」)	1通	
	1046	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治37年] 2月2日	伊東男北堂葬儀あり。阪鶴鉄道社長の件、岡崎不信用の事を関より早川に通じる。後任には松本で如何。	墨書	巻紙	資料番号1046、1053はもと同じ封筒入り(封筒消印は「43・8・19」)	1通	
	1047	田健治郎書簡	田健治郎	(田艇吉)	[明治37年]	「副啓」戦争終結まで鉄道建設費は大繰延のため、まだ建設事務所設置は不可。ただし、和田山停車場たるべき大蔵村・高田村間は土地収用することになった。	墨書	巻紙	資料番号1047、1077、1091、1102、1104、1106はもと同じ封筒入り	1通	
	1048	田健治郎書簡	田健治郎	(田艇吉)	[明治37年]	藤江には日露間平和に終局すべしと述べたが、その後ロシアの態度強硬となり、元老会議を開催して政府も決心したるごとし。この旨、藤江にお伝え下されたし。	墨書	巻紙	資料番号1048、1072、1088、1107はもと同じ封筒入り	1通	



田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R3	1049	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治37年]	別啓、太田休蔵を大石に依頼の件、なお検討す。最近、京釜鉄道速成のため繁忙を極める。	墨書	巻紙	資料番号1043、1045、1049、1100は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「42・5・26」)	1通	
↓	1050	田健治郎書簡	田健治郎	田長喜	[明治38年] 8月17日	玉川別荘買い求めにつき御高諭感謝。風光明媚ゆえ来春には来られたし。廣内も近日渡韓、井上雅二は韓国政府財務官に雇われる。	墨書	巻紙	資料番号1018、1050はもと同じ封筒入り	1通	
	1051	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治39年] 1月6日	桂首相より、山県新逋相の下での次官留任は心外につき貴族院勅選議員に任ずる旨の話あり、受けることにした。婚礼日時の件。	墨書	巻紙	資料番号1051、1085はもと同じ封筒入り(封筒消印は「□4・1・26」)	1通	
	1052	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治39年] 4月1日	勲二等旭日重光章授与される。八鹿局長候補の件、町田に依頼状差し出す。東京水力株主に別紙報告書差し出す。	墨書	巻紙	資料番号1001、1037、1052は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「42.12.12」)	1通	
	1053	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治40年] 9月16日	今後は怪我せぬよう用心されたし。綾子結婚。崎戸炭鉱組合出資領収証委託の件了承。この払込株に対し銀行は融資してくれず、何らかの方法必要。重野彦熊の件。	墨書	巻紙	資料番号1046、1053はもと同じ封筒入り(封筒消印は「43・8・19」)	1通	
	1054	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治40年] 11月22日	九州炭鉱引受切替の件、第三銀行支店に払込みを願う。同炭鉱は100尺の所で一時堅岩にあうも予定通り。いよいよ25日総会、毀誉褒貶あるも流言は既設会社の中傷。	墨書	巻紙	資料番号1054、1090はもと同じ封筒入り(封筒消印は「□2・5・18」)	1通	
	1055	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治41年] 1月5日	堀均一俵九炭採用は不可。10日の例会は開催の予定。	墨書	巻紙		1通	堀均一書簡田艇吉宛、明治40年12月21日、1通
	1056	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治41年] 2月25日	太田きく女縁談のための金策の件、小生預りの品の売価見込額を算定す。	墨書	巻紙		1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R3	1057	田健治郎書簡	田健治郎	田長喜	[明治41年] 3月18日	太田菊子の婚儀。昌の病気は軽症。	墨書	巻紙		1通	
↓	1058	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治41年] 6月28日	竹内綱・白石博士とともに実地検査のため九州に出張。母上も同行帰阪につきお供。先日は母上に同行し日光見物。	墨書	巻紙		1通	
	1059	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治41年] 7月19日	母上様のご東遊に感謝。帰京後腸カタルに罹るが、桂・大浦を訪問するまでに回復す。	墨書	巻紙		1通	
	1060	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治41年] 7月22日	北海道地図、小生の手元になし。太田家金策の件。	墨書	巻紙		1通	
R4	1061	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	明治41年 11月27日	九炭株払込の件、本日農工貯蓄銀行から4000株を担保に金1万円の約束手形作成を約束。返金の期日につき確認。	墨書	巻紙		1通	
↓	1062	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	明治41年 11月30日	艇吉・姉上・柴原仁造・田友吉・池上平六郎の九州炭鉱株の件。	墨書	巻紙		1通	
	1063	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治42年] 4月21日	九炭起債25万円は略纏まる。その場合は払込みは1年以上猶予、代りに利息配当は廃止したき考案。浅田以下と崎戸炭鉱実見のため九州に出張の予定。彼等も九炭株を希望。今後同株は値上がりするだろう。	墨書	巻紙		1通	
	1064	田健治郎書簡	田健治郎	(田艇吉)	[明治42年] 4月	田昌は清韓へ派遣される予定(明治42年4~7月)。拙宅修繕工事まだ完了せず(後切れ)。	墨書	巻紙	資料番号1021、1026、1064(はもと 同じ封筒入り(封筒 消印は「29・3・ 16」)	1通	
	1065	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治42年] 6月10日	大沢金山の松の持分質入れの件、申し入れあれば取計う。興業銀行起債につき小生保証人になるのは迷惑。可児の熱望により同氏・桑原政と崎戸出張の予定。	墨書	巻紙		1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R4	1066	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治42年] 9月3日	東京鉄道との電力供給契約は、吾妻川・桂川・大井川・東京電灯など烈しい競争となり、雨宮・根津らが活動するも、遂に鬼怒川組合に決定。東鉄・ジャクソンとの契約書案審議の件。	墨書	巻紙		1通	
↓	1067	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治42年] 9月4日	鬼怒川水力・東京鉄道の電力供給結約遷延は、小野が辞表提出し雨宮も反対運動を行った事による。現在説得中。既に全会一致で可決したもので近日中にも結約の見込み。	墨書	巻紙	資料番号1067、1086はもと同じ封筒入り(田男爵伝記編纂会封筒)	1通	
	1068	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治42年] 10月2日	護国搭本部より資金払底の連絡あり、藤江に相談。神谷より九炭株引き受けの申し出があり。東鉄・鬼怒川の契約いまだ成らず。土田叔母立替金の処理を願う。	墨書	巻紙	封筒消印は「42・10・10」	1通	
	1069	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治42年] 10月10日	炭坑の出水予想より少なく幸運。護国搭で御奔走感謝。鬼怒川の件、いまだ東鉄の都合で決定せず、いずれ市有となるだろう。	墨書	巻紙	封筒消印は「42・10・2」	1通	
	1070	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	明治42年 10月16日	米価下落し地主減税の囂々たるは致し方なし。	墨書	巻紙		1通	
	1071	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	明治42年 10月31日	九州行に際し歓待感謝。子供への草子贈呈感謝。	墨書	巻紙		1通	
	1072	田健治郎書簡	田健治郎	田長喜	明治42年 11月13日	園田寛文官高等試験合格は一家の名誉。鹿児島本線開通式に同道致したし。	墨書	巻紙	資料番号1048、1072、1088、1107はもと同じ封筒入り	1通	
	1073	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	明治42年 12月12日	今回は直ぐに帰る。田辺・藤江・桑原諸氏に会う手筈を願う。	墨書	巻紙	資料番号1044、1073はもと同じ封筒入り	1通	
	1074	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	明治42年 12月19日	新元の様子。篤は関宗喜の北海道拓殖銀行に就職。田辺・山内・長谷川芳之助と株の件。	墨書	巻紙		1通	
	1075	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	明治42年 12月25日	株の代金拝受、明後日払い込む予定。阪鶴鉄道解散記念品拝受。	墨書	巻紙		1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R4	1076	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治43年] 3月15日	篤病状は快方。宅地価修正法案、関税率改正法案などで幸倶楽部や政府の取りまために奔走。護国搭募集延期の件は内務省の即決を願う見込み。内国生命保証会社につき、山本・竹内綱・明太郎など社長問題で活動。	墨書	巻紙	資料番号1076、1078はもと同じ封筒入り	1通	
↓	1077	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	明治43年 3月21日	篤結婚予定につき婚姻願に調印を願う。内国生命保険につき、竹内、岡より書面来る。多少の事情あることと思われる。	墨書	巻紙	資料番号1047、1077、1091、1102、1104、1106はもと同じ封筒入り	1通	
	1078	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	[明治43年] 4月14日	林・田辺より崎戸事業の様子承る。田辺・藤江・桑原や百三十銀行高松長秋との金融談の件。月末九州に出張の予定。	墨書	巻紙	資料番号1076、1078はもと同じ封筒入り	1通	
	1079	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治43年] 7月23日	小谷晴女の葬式御苦労さま。先祖の法要に正を代拝させる。藤田四郎夫人等の訃報。	墨書	巻紙		1通	別紙、1枚
	1080	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治43年] 8月19日	稔葬儀手配に感謝。崎戸第二坑汽機関故障は修理ようやく開始。株金払い込みの関係で重役会開催するので上京されたし。九炭株10円位で売りに出れば至急お知らせ下されたし。	墨書	巻紙		1通	
	1081	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治43年] 8月22日	園田家葬儀の件感謝。鬼怒川株300処分の件拝承。崎戸は近日中に着炭の予定、株価順調。	墨書	巻紙		1通	
	1082	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[明治43年] 8月29日	鬼怒川株払込の件、小林に依頼。本年所得金決定額につき別紙書状至急調査を願う。	墨書	巻紙		1通	
	1083	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	明治43年 11月24日	有価証券退会届・村井銀行領収証を拝受。行き違いで為替送付。東京水力割戻請求の件。武田大尉縁談。九州重役組織顔ぶれの件。	墨書	巻紙		1通	
	1084	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	[大正4年] 11月12日	御大典後も種々行事あり再訪覚束なく丹波行もできず。	墨書	巻紙		1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R4	1085	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	1月24日	親族の近況。	墨書	巻紙	資料番号1051、1085はもと同じ封筒入り(封筒消印は「□4・1・26」)	1通	
↓	1086	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	2月17日	別啓、浪華銀行起債交渉御奔走感謝、不調に終わり残念。	墨書	巻紙	資料番号1067、1086はもと同じ封筒入り(田男爵伝記編纂会封筒)	1通	
	1087	田健治郎書簡	田健治郎	田長喜	2月22日	藤江上京の近況拝承。哲の件は本人に篤と申し聞けるつもり。	墨書	巻紙	資料番号1016、1039、1087は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「29・1・8」)	1通	
	1088	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	3月16日	母上御来遊の趣拝承。	墨書	巻紙	資料番号1048、1072、1088、1107はもと同じ封筒入り	1通	
	1089	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	4月27日	淳子より電報あるも注文通りにはしがたし。	墨書	巻紙	資料番号1013、1089はもと同じ封筒入り	1通	
	1090	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	5月17日	長々逗留につき感謝。月末にまた行く予定。大坂株御売却に感謝。小谷、三崎に舞鶴地所処分を請求す。	墨書	巻紙	資料番号1054、1090はもと同じ封筒入り(封筒消印は「□2・5・18」)	1通	
	1091	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	6月21日	預り金を返却す。琉球塗茶台および園田より預かりの錦絵を差上げる。	墨書	巻紙	資料番号1047、1077、1091、1102、1104、1106はもと同じ封筒入り	1通	
	1092	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	7月20日	鉄道書式写し取ったのでおいで下されたし。	墨書	巻紙	資料番号1020、1092、1098はもと同じ封筒入り	1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R4	1093	田健治郎書簡	田健治郎	小谷保太郎	7月27日	片山博士診察見合わせの場合は連絡をとられたし。	墨書	巻紙		1通	
↓	1094	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	8月7日	下田庄太孫下田豊より身分上の事斡旋の依頼あり、謝絶する方がよいか。	墨書	巻紙	資料番号1027、1041、1094、1099はもと同じ封筒入り(封筒消印は「5.1.15」、小島友吉宛)	1通	
	1095	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	9月3日	松坂の小津清左衛門下阪、については家憲および銀行組織方法につき御説示を願う。	墨書	巻紙		1通	
	1096	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	10月10日	借入・定款・時刻賃銭等の認可につき16日に社員召し連れ上京を願う。鳥居駒次郎採用の件、大臣より頼まれたのでお取り計らいを願う。	墨書	巻紙	資料番号1005、1096はもと同じ封筒入り	1通	
	1097	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	10月17日	明石の趨勢拝承。演説会は北河内・古市のほかは未定。20日頃ならでは上阪は覚束なし。	墨書	巻紙	封筒消印は「3□・10・17」	1通	
	1098	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	10月19日	佐野来訪中なので、明日2人で何う予定。	墨書	巻紙	資料番号1020、1092、1098はもと同じ封筒入り	1通	
	1099	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	10月21日	御所柿の御恵贈感謝。廣内黙咲老師病状は如何。	墨書	巻紙	資料番号1027、1041、1094、1099はもと同じ封筒入り(封筒消印は「5.1.15」、小島友吉宛)	1通	
	1100	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉・長喜	11月22日	松元剛吉妻出血、急遽施術を行い何とか分娩に成功す。	墨書	巻紙	資料番号1043、1045、1049、1100は、もと同じ封筒入り(封筒消印は「42・5・26」)	1通	

田健治郎関係文書目録(第3次受入分)

リール番号	請求番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
R4	1101	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	11月25日	東京重役すべて出席、議案異議なく通過し全員重任す。田辺貞吉も重任。百三十銀行繰り延べ失望。払込金は九炭株担保として農工貯蓄銀行に融資を相談するつもり。	墨書	巻紙	封筒消印は「42・9・4」	1通	
↓	1102	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	11月28日	土居・浜崎・日下の鬼怒川水力電気会社発起人加入の件、多分行わるべし。艇吉引受の700株を1000株に増加することも同じ事情。来る一日に九州炭鉱発起人総会開催の筈、現在希望者多く発起人賛成人のみで引き受けるかもしれず。	墨書	巻紙	資料番号1047、1077、1091、1102、1104、1106はもと同じ封筒入り	1通	
	1103	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	12月6日	田中宗一計画の神戸製氷事業は有望につき出資のつもり。貴兄の出資賛成の有無を問合せ。	墨書	巻紙		1通	
	1104	田健治郎書簡	田健治郎	田艇吉	12月10日	礼服入用につき、御返却を願う。	墨書	巻紙	資料番号1047、1077、1091、1102、1104、1106はもと同じ封筒入り	1通	
-	1105	田昌書簡	田昌	田艇吉	[明治32年] 5月3日	退寮し芦田君の斡旋で下宿屋に住むことにする。御命令を背き申し訳なし。寮に比べ金はかかるが質素に暮らすのでお許しを願う。	墨書	巻紙		1通	
-	1106	「施術」に関する覚書	田健治郎			「施術」内容の概略。	墨書	巻紙	資料番号1047、1077、1091、1102、1104、1106はもと同じ封筒入り	1通	
-	1107	府県会議員選挙規則第56条に関する覚書	田健治郎			選挙人が当選者を不服とし知事に申し立てた場合の措置についての伺。	墨書	巻紙	資料番号1048、1072、1088、1107はもと同じ封筒入り	1通	